

園長だより



みどりっこ



幼保連携型認定こども園

No.1 1

宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園 園長 久島 孝昭

R1.6.28

4月の中旬に種を蒔いたミニひまわりが27日(木)の午前、開花しました。約2か月かかりましたが、その名のおりかわいい花を咲かせてくれました。まだつぼみのままのものもありますが、大切に育てて、長く花を楽しみたいと思います。



○ 風水害への対応について

27日(木)は熱帯低気圧の接近に伴う大雨の予報が前日に出て、市内の公立小中学校は臨時休業となりましたが、本園は平常どおり開園しました。ただ、予報では、当日は大雨が予想されたことから、通園バスの運行を取りやめ、バス利用者につきましては保護者による送迎をお願いしました。幸い当日は豪雨に見舞われることもなく、ほっとしましたが、保護者の皆さんには、ご苦労いただき、感謝申し上げます。

これから台風シーズンもきますが、子どもたちの安全を最優先に考えて対応していきますので、よろしくをお願いします。

○ 参観日、出席ありがとうございました。

22日(土)は朝から快晴に恵まれ、午前中、保育園部・幼稚園部ともに参観日を実施しました。たくさんの保護者の皆さんに来園いただき、ありがとうございました。いつもと雰囲気が違うことから、緊張していつもの活動ができない子どももいましたが、これも経験だと思えます。少しずつ慣れて、いつもの自分を出すことができるようになると思います。



1歳児、2歳児の合同給食

保育園部の0歳児・1歳児クラスの前半の保育の様子は、保護者の顔が見えると、子どもたちが大泣きしたり、保護者のそばに行きたがったりして、いつもの保育の様子を見ていただくことができなくなるので、窓には目隠しをさせていただきました。せっかく来ていただいたのに、ゆっくりとお子さんの様子を見ていただくことができず、心苦しく思いましたが、子どもたちの成長の過程だご理解いただければ幸いです。後半は保護者の皆さんと一緒に楽しく活動できていたので、ほっとしたところです。2歳児クラスは、初めから保護者の皆さんと一緒に活動していただきました。

幼稚園部の年少から年長は、保護者の皆さんと一緒に活動しました。多くの保護者の皆さんに来ていただいたので、クラスが狭く感じられたと思いますが、それぞれのクラスの雰囲気を感じたり、子どもたちの様子を見たりしていただけたのではないのでしょうか。

○ 「だいすけお兄さん」が来園しました。

21日(金)の午前、NHKで放映されている「おかあさんといっしょ」で以前、歌のお兄さんをされていた「だいすけお兄さん」が来園し、子どもたちとふれ合ってくださいました。7月20日から9月1日まで行われる「だいすけお兄さんの世界名作劇場 パート3」の宣伝の一環として、本園に来てくださいました。初めに、2階ホールで年長の子どもたちと歌を歌ったり、話をしたりしてふれ合ってくださいま

した。その後、園庭に出て園児全員と一緒にカメラに写りました。最後は、お兄さんとハイタッチをしてお別れしました。

当日の様子は、7月6日(土)夕方のUMK番組「U-d o k i」で放映予定とのことです。なお、お兄さんの様子を撮影した写真は現在、担当者に掲載してよいか照会中です。しばらくお待ちください。放映の詳細等分かりましたら、改めてお知らせします。

○ 私の園経営方針

6月が終わります。遅くなりましたが、私のみどり幼稚園経営方針について、書かせていただきます。概要は5月の保護者の会総会でお話ししましたが、具体的にお伝えします。私のみどり幼稚園経営を通して、どのような子どもたちを育てていきたいのかをご理解いただき、これからのみどり幼稚園の教育・保育活動にご協力いただければ幸いです。また、私の考えや園の状況等に対して保護者の皆さんからのご意見もいただき、よりよい園にしていきたいと思っています。

宮崎学園の建学の精神は「礼節・勤労」～礼節を重んじ 勤労を尊ぶ～です。「礼節」は、人がお互いを思いやり、自分を大切にするとともに他を重んずる精神。つまり、思いやりの心です。「勤労」は、心身を労して勤めに励むことであり、何事においても意を尽くし、力を尽くして努力すること。つまり、やるべきことをあきらめずがんばる強さです。

また、みどり幼稚園の教育・保育目標として、「きまりよく（躰の教育と生活指導）」「なかよく（和の教育）」「ありがとう（感謝の念を培う）」です。

私は、この建学の精神と教育保育目標を踏まえて、「命」「夢」「心」の3つをキーワードに、子どもたちの健やかな成長を目指して園経営に取り組んでいきます。

命 = 「心身の健康に気をつけ、自他の生命を大切にする態度」を育みます。

教育・保育を進める上で、子どもたち一人一人に「命」の大切さを伝えていきます。

保護者の皆さんからいただいた大切なたった一つの命。この命は自分一人だけの命ではなく、保護者の皆さんの命でもあるという意識をもたせます。そして、自分の命と同様に、周りの人の命も大切にしようという意識を高めさせたいと考えます。そのために「自分の命は自分で守る」「自分の健康は自分で守る」という主体的な態度をしっかりと身に付けさせていきます。

夢 = 「かなえたい目標をもち、その実現に向け努力する行動力」を育みます。

せっかく保護者の皆さんからいただいた「命」です。毎日を大切に有意義なものにしてほしいと思います。そのため手段として、子どもたちに夢をもたせたいのです。夢は、子どもにより様々です。同じ子どもでも、成長や状況により夢は変わっていきます。夢は変わってもよい私は思います。とにかく、具体的であれ、漠然としたものであれ、今、自分はどうありたい、何になりたい、何ができるようになりたい、という夢をもたせることが、今をしっかりと生きるうえで大切だと考えます。将来、子どもが自立して自分の人生を生き抜く力の素地を今から少しずつ身に付けさせていきたいと思います。

心 = 「逆境に負けない強い心と、他を思いやる優しい心」を育みます。

すでに本園ホームページの園長日記でも紹介していますが、年少組の子どもたちがボランティア活動（1階テラスの清掃活動）をしてくれています。うれしいことです。私は子どもたち一人一人に、人の気持ちを考えながら行動できる、いわゆる思いやりの心や、思ったことをやり遂げようとする強い心を育みます。

この「心」は宮崎学園の建学の精神と、みどり幼稚園の教育・保育目標と一致していますので、特に力を入れていきたいと考えています。具体的には「礼節」は元気なあいさつができるようになる、「勤労」は後片付けができるようになる、を目標に子どもたちに働きかけて行きます。

保護者の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。